
2007年のゆかりん

時々晴れ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

2007年のゆかりん

【Nコード】

N1487E

【作者名】

時々晴れ

【あらすじ】

変てこな運命を背負った高1ゆかりは、今日もまた新入生。

ぶろろーぐ 朝ですよ、ゆかりん

ぴよぴよぴよ……

ひよこさんデザインの目覚ましは朝を告げる。

ぴよぴよぴよ……

あー眠いよ、しんどいよ……。

ぴよぴよぴよ……

……健気すぎるよ、ひよこさん。

ぴよぴよぴよ……

あと5分、ひよこさん！

ぴよぴよ……

目を開く。太陽の日差しがまぶしくて、目がチカチカする。

おっきな枠のおっきな窓。ふかふかベッド。枕元には可愛いぬいぐるみさんたち。

ひよこさん目覚ましは……どこ？

一定なリズムの鳴き声は勉強机の上から。黄色のシルエットが見える。力の入らない体を起こして、ひよこさんの頭を手の平で押し

込む。鳴き止む。

なんで目覚まし手元に置かないのよ、おかげで朝の至福の「あと5分」が台無しですよ……。

……っか、この部屋なに？

部屋がピンクで統一されてる……。壁までピンク……。

……やばい……。これはちよつとまずいのでは……。

恐る恐るで部屋を物色する。

最悪だ――

なんだこの服は!？

大きなタンスの引き出しを開くと、そこは私とは無縁のファンタジーな世界だった。

やめてくれ……。ふりふりとかスカートとか私の趣味じゃないよ……。てか、どんなセンス……。

……仕方ない、当分は学生服で生活だ。ずっと学生服だ。早めに服買いに行こう……。お金あるかな……。

――あ。

もしや。

これだけの部屋や服のセンス……。もしかしてもしかすると……。ゆっくりとパジャマを脱ぎ捨てる。

……下着まで最悪っっ

「続きまして、校長先生よりお言葉をいただきます」

ステージに登る校長先生。校長先生はやっぱハゲな人が多いね、でも、お腹がもうちょっと出ていたらもっと校長らしい校長になれるよ。

剥げた頭が下ろされる。それに合わせてお辞儀を返す。

「新入生の皆さん、入学おめでとございます」

あー来ましたよ、恒例のセリフ。もう聞き飽きたよ、校長先生。校長だって飽きたでしょう？毎年読むだもんね、似たような台本をさあ。あーおもしろくない。ここでちょっと校長がアドリブでも入れて場を盛り上げるとかしてほしいよ、「青春万歳ー！」とか叫んでみたりとかさ。なんかないのかな？そしたらみんな学校にいいイメージ抱くよ、きっと。

たくさん入学式出たけど、どれも代わり映えないよね、なんか儀式だよね、やらなきゃいけないって思ってたそんでなんとなく消化されて。型にはまり過ぎだよ、新入生だって感動のひとつもできないよ、もつとこう……。まあ、ルールだもんね、くだらなくてもなんとなく止められないんだろうな、きっと……。

あつ

ハゲ頭が傾いてる！

あわててお辞儀を返す。

あちゃー……、タイミングずれた……っ

——これは何度目の春だろうか。これは幾度目の入学だろうか——

私は一人の日本国民として、当たり前前に成長した。

それは当然で特別でなく、だれもが今を生き、年をとるものだと信じて疑わなかった。

意識さえしていなかった。

でも、ある日だった。

目を開けるとそこは私の部屋ではなかった。親も違う人になっていた。

昨日まで通っていた高校ではない別の高校に新入生として入学式に参加させられる。昨日までウハウハ夏休みだったのに、桜が満開の知らない校庭になぜかいた。

環境は全てが変わっていて、でも、私はそこに馴染んでいて誰も不審におもわない。私の心だけがどうか別のところ。

……思えば、変わらぬ時間の流れがあることを、誰が証明できたのだろう。実際は誰もできていない。未来は誰も見たことがないんだ。

なのに信じて疑わない私がいたし、今でもそれが本当ではないかと思っっている。こんなのはオカシイって思ってる。でも証明できないよ。

——時は変わらず2007年、また春がやってきた——

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1487e/>

2007年のゆかりん

2011年1月22日18時56分発行